

都市再生整備計画 事後評価シート

森地区

平成29年3月
静岡県 森町

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	森町		地区名	森地区			面積	250ha	
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	318百万円		国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	【道路】町道沢下中川原線、町道本丁大上線、町道天宮内房線、町道天宮西8号線、町道大洞院線、町道新田赤松線(川久保地内)、町道新田赤松線(川向地内) 【公園】(仮称)天宮公園 【地域生活基盤施設】天宮調整池									
		提案事業	【地域創造支援事業(排水路整備事業)】森町第一排水路 【地域創造支援事業(上水道整備事業)】向天方地区 【事業活用調査(事業効果分析調査)】 【まちづくり活動推進事業(天宮地区定住化促進事業)】 【まちづくり活動推進事業(天宮地区ワークショップ事業)】 【まちづくり活動推進事業(森地区まちづくり推進事業)】									
			事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	当初計画から削除した事業	基幹事業	【公園】(仮称)天宮児童公園				近接する天宮公園の遊具等の充実をすることにより、天宮公園と統合し機能の補完をするため、天宮児童公園の整備を取り止める。なお、天宮公園に機能が補完されるため、指標に影響はない。			なし		
		提案事業	－				－			－		
	新たに追加した事業	基幹事業	－				－			－		
		提案事業	－				－			－		
	交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		－					
		変更	変更なし									
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値	目標値	数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1		住みやすさ	%	19.7	H21	22.1	H27		29.0	○	あり なし	－
指標2		定住人口	人	254	H22	270	H27		336	○	あり なし	－
指標3		まちづくり活動参加者の数	人	200	H22	300	H27		568	○	あり なし	－
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値	目標値	数 値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－
その他の数値指標2	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	
4)定性的な効果発現状況	・平成24年天宮土地区画整理事業保留地にサテライト型の地域密着型介護老人福祉施設が誘致され、「いくつになっても安心して暮らし続けることができる福祉の町づくりを」という地元の願いの実現につながった。 ・天宮公園の整備により、地元のグランドゴルフ愛好グループが自宅近くでプレーできるようになり、グループにより自発的に草取り等の定期的な管理も始まり、地域一体となった公園の利用が進んでいる。 ・昭和45年に都市計画決定された都市計画道路新田赤松線の40年以上未整備のままであった区間の整備について、森地区まちづくりの会がとりまとめた報告書による整備を求める町当局への提言により、長年の懸案とはなっていたものの半ば凍結状態であった事業が、平成26年度から事業実施に向けた基礎調査を手始めに動き出した。 ・地区内で盛んになった「町並みと蔵展」、「みんなで森ほたる」等のイベントを参考にして、町内の地区外の地域においても「遠州森駅発 Neo 森の古着市」、「森町天方・三倉地区 かわせみ街道オープンハウス ぷぷふの日」等の住民グループ主催のイベントが定期的に開催されるようになり、町全体で住民参加によるまちづくりへの機運が高まっている。 ・土地区画整理により区画整理地内の定住人口が増加しているとともに、町内他地区に比較して若い世帯・子どもの増加が確認でき、新たな定住者の中には、未来への継承が課題となる国指定無形民俗文化財「天宮神社十二段舞楽」が行われる地域の祭りへの積極的な参加がみられ、地域の大切な文化の継承に大きく貢献している。											
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況			今後の対応方針等		
	モニタリング		－				都市再生整備計画に記載し、実施できた			－	－	
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			－		
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			－		
	住民参加プロセス		天宮公園の整備に当たってはワークショップを行い、住民が利活用できる公園整備を図るとともに、住民参加による管理を検討する。				都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	住民参加による公園管理を継続的に実施する。	
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
			森地区全体でまちづくりの研修会やイベントを行い、まちづくりの意識向上を図るとともに、住民参加による町並み整備の検討や住民のまちづくり活動の支援を図っていく。				都市再生整備計画に記載し、実施できた			●	森町として推進する遠州の小京都まちづくりの一環として、町並み整備や地域資源の保全・活用に向けた検討・実施を図る。	
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した					
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
街路整備について住民参加のワークショップを行い、今後の整備につなげていく。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				(都)新田赤松線等の整備に向けた具体的な検討を行う。				
				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した								
				都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった			●					
持続的なまちづくり体制の構築		協働によるまちづくりとして、まちで活動する団体と連携し、まちづくり活動の支援を行う。				都市再生整備計画に記載し、実施できた				各団体との連携や活動の支援を行い、継続的に、まちづくり活動を実施する。		
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した			●			
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

[illegible]

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 — 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	－	－	－
B. 目標を定量化する指標		●	－	－	－
C. 目標値		●	－	－	－
D. その他()		●	－	－	－

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	町道沢下中川原線	40.0	L=280m	40.0	L=280m	—	—	●	
道路	町道本丁大上線	19.6	L=52m	19.6	L=52m	—	—	●	
道路	町道天宮内房線	24.7	L=65m	24.7	L=65m	—	—	●	
道路	町道天宮西8号線	37.0	L=80m	37.0	L=80m	—	—	●	
道路	町道大洞院線	6.0	L=317m	6.0	L=317m	—	—	●	
道路	町道新田赤松線(川久保地内)	6.0	L=63m	6.0	L=63m	—	—	●	
道路	町道新田赤松線(川向地内)	5.0	L=100m	5.0	L=100m	—	—	●	
公園	(仮称)天宮公園	52.0	A=3,600㎡	77.0	A=3,600㎡	事業内容の見直しによる事業費増	天宮児童公園の整備を取り止め、天宮公園の整備に統合したため、指標への影響はない。	●	
公園	(仮称)天宮児童公園	25.0	A=506㎡	—	—	事業内容の見直しによる事業の削除	近接する天宮公園の遊具等の充実をすることにより、天宮公園と統合し機能の補完をするため、天宮児童公園の整備を取り止める。なお、天宮公園に機能が補完されるため、指標に影響はない。	—	—
古都及び緑地 保全事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
河川	—	—	—	—	—	—	—	—	—
下水道	—	—	—	—	—	—	—	—	—
駐車場有効利 用システム	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域生活基盤 施設	天宮調整池	15.0	A=2,150㎡	15.0	A=2,150㎡	—	—	●	—
高質空間形成 施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高次都市施設	—	—	—	—	—	—	—	—	—
既存建造物活 用事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
土地区画整理 事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
市街地再開発 事業	—	—	—	—	—	—	—	—	—

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
住宅街区整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
地区再開発事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
バリアフリー環境整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
優良建築物等整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
住宅市街地総合整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
街なみ環境整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
住宅地区改良事業等	－	－	－	－	－	－	－	－	－
都心共同住宅供給事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－
公営住宅等整備	－	－	－	－	－	－	－	－	－
都市再生住宅等整備	－	－	－	－	－	－	－	－	－
防災街区整備事業	－	－	－	－	－	－	－	－	－

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	排水路整備事業	13.0	L=95m	13.0	L=95m	-	-	●	
	上水道整備事業	51.0	L=365m	51.0	L=365m	-	-	●	
事業活用調査	事業効果分析調査	4.5	-	4.5	-	-	-	●	
まちづくり 活動推進事業	天宮地区定住化促進事業	6.0	-	6.0	-	-	-	●	
	天宮地区ワークショップ事業	2.2	-	2.2	-	-	-	●	
	森地区まちづくり推進事業	11	-	11	-	-	-	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
		当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
土地区画整理事業	森町天宮地区	2,407	2,407	H9～H26	H9～H26	平成26年に完了	—

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの有無	
				単位		基準 年度		基準 年度							目標 年度	あり
指標1	住みやすさ	%	平成21年度に実施した調査と同様の手法で町民意識調査を実施し、「住みやすさ」に関する設問に対する回答として「住みやすい」と回答した割合を算出する。	-		19.7	H21	22.1	H27	モニタリング			モニタリング		-	-
										事後評価	確定 見込み	● -	29.0	事後評価		
指標2	定住人口	人	森町天宮土地区画整理事業施行区域内に住居のある、住民基本台帳登録者数により数値を計測し、平成28年3月31日時点の住民基本台帳登録者数を評価値(確定値)とする。	-		254	H22	270	H27	モニタリング			モニタリング		-	-
										事後評価	確定 見込み	● -	336	事後評価		
指標3	まちづくり活動参加者の数	人	住民が立ち上げたまちづくりグループが主催するまちづくりイベント(遠州森町発町並みと蔵展、みんなで森ほたる、森のKトラ市)の参加者数を計測し、イベントの参加者数を評価値(確定値)とする。	-		200	H22	300	H27	モニタリング			モニタリング		-	-
										事後評価	確定 見込み	● -	568	事後評価		
指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)								その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)							
指標1	道路や公園等の都市整備を図り居住環境が向上したことにより、指標の達成が認められる。								-							
指標2	公園、調整池、排水路などの環境整備やPR活動を進めることで、土地区画整理事業地内の人口増加を図り、指標の達成が認められる。								-							
指標3	各種まちづくりイベント開催やイベント参加者数の増加を図り、指標の達成が認められる。								-							

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
		単位			基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	モニタリング			-	-
								事後評価	確定 見込み	- -		
その他の 数値指標2	-	-	-	-	-	-	-	モニタリング			-	-
								事後評価	確定 見込み	- -		
その他の 数値指標3	-	-	-	-	-	-	-	モニタリング			-	-
								事後評価	確定 見込み	- -		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・平成24年天宮土地区画整理事業保留地にサテライト型の地域密着型介護老人福祉施設が誘致され、「いくつになっても安心して暮らし続けることができる福祉の町づくりを」という地元の願いの実現につながった。

・天宮土地区画整理事業保留地処分では、平成24年4月の新東名開通に伴い、県外を含め、町外からの問合せが増加傾向にある。

・天宮公園の整備により、地元のグランドゴルフ愛好グループが自宅近くでプレーできるようになり、グループにより自発的に草取り等の定期的な管理も始まり、地域一体となった公園の利用が進んでいる。

・昭和45年に都市計画決定された都市計画道路新田赤松線の40年以上未整備のままだった区間の整備について、森地区まちづくりの会がとりまとめた報告書による整備を求める町当局への提言により、長年の懸案とはなっていたものの半ば凍結状態であった事業が、平成26年度から事業実施に向けた基礎調査を手始めに動き出した。

・地区内で盛んになった「町並みと蔵展」、「みんなで森ほたる」等のイベントを参考にして、町内の地区外の地域においても「遠州森駅発 Neo 森の古着市」、「森町天方・三倉地区 かわせみ街道オープンハウス ふぶふの日」等の住民グループ主催のイベントが定期的開催されるようになり、町全体で住民参加によるまちづくりへの機運が高まっている。

・土地区画整理により区画整理地内の定住人口が増加しているとともに、町内他地区に比較して若い世帯・子どもの増加が確認でき、新たな定住者の中には、未来への継承が課題となる国指定無形民俗文化財「天宮神社十二段舞楽」が行われる地域の祭りへの積極的な参加がみられ、地域の大切な文化の継承に大きく貢献している。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3－① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
実施なし	予定どおり実施した	-	-
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった		
	(理由)		

添付様式3－② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
天宮公園の整備に当たってワークショップを行い住民が利活用できる公園整備を図るとともに、住民参加による管理を検討する。	予定どおり実施した	● (仮称)天宮公園整備ワークショップ 【実施頻度】全3回 【実施時期】平成23年9月～平成23年11月 【実施結果】全体討議で、まず一番コストのかかるトイレについて話し合い、トイレは1ブースのものを1箇所設置し、遊具や休憩施設を充実させる案で合意した。	住民参加による公園管理を継続的に実施する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった		
	(理由)		
森地区全体でまちづくりの研修会やイベントを行い、まちづくりの意識向上を図るとともに、住民参加による町並み整備の検討や住民のまちづくり活動の支援を図っていく。	予定どおり実施した	● 森地区まちづくりの会 【実施頻度】全17回 【実施時期】平成23年～平成25年 【実施結果】「道路・交通」「防災」「歴史・文化・景観」「観光・産業(産業)」の様々な視点からまちづくりの方向性・取組を検討し、保全・活用すべき地域資源を抽出した。 まちづくり講演会(地域資源をいかしたまちづくりを始めよう～近隣のまちづくり実例から学ぶ～)をH24.2.25に実施した。	森町として推進する遠州の小京都まちづくりの一環として、町並み整備や地域資源の保全・活用に向けた検討・実施を図る。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった		
	(理由)		
街路整備について住民参加のワークショップを行い、今後の整備につなげていく。	予定どおり実施した	● 森地区まちづくりの会 【実施頻度】全17回 【実施時期】平成23年～平成25年 【実施結果】「道路・交通」「防災」「歴史・文化・景観」「観光・産業(産業)」の様々な視点からまちづくりの方向性・取組を検討し、(都)新田赤松線の整備必要性や地区内の改良が必要な道路の抽出を行った。	(都)新田赤松線等の整備に向けた具体的な検討を行う。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった		
	(理由:)		

添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
協働によるまちづくりとして、まちで活動する団体と連携し、まちづくり活動の支援を行った。	予定どおり実施した	町民主体によるまちづくりの進め方、まちづくり活動への支援のあり方などについて明らかにし、周知を図るとともに支援体制について検討した。	【組織名】 遠州木三の里連	各団体との連携や活動の支援を行い、継続的に、まちづくり活動を実施する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった			
	(理由)			
地域の活性化に繋がる、まちづくり活動の支援を行い交流の場の創出を行った。	予定どおり実施した	消費者、生産者、商工業者等、多様な主体によるまちづくり活動を支援し、新しい交流の場の創出を支援した。	【組織名】 「森の軽トラ市」実行委員会	交流人口の増加、まちの賑わい創出に向けて活動を継続的に支援する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった			
	(理由)			
まちのにぎわい創出に向け、活動している住民や商工業者等と連携し、まちづくり活動を支援した。	予定どおり実施した	住民や商工業者等の協働により、人々の交流の場を構築し、にぎわいあるまちづくり活動を支援した。	【組織名】 森ほたる実行委員会	人々のふれあいと賑わいあるまちの創出を目指し、継続的に活動を支援する。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった			
	(理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
森地区都市再生整備計画調整会議	町長、副町長、建設課参事(兼)課長、建設課課長補佐、建設課職員	平成29年1月12日	森町建設課 (都市再生整備計画主管課)

添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1		指標2		指標3		－	
指 標 名		住みやすさ		定住人口		まちづくり活動参加者の数		－	
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業	【道路】町道沢下中川原線	◎	地区内の道路を整備するとともに、調整池や排水路、上水道の整備を進めることで、安全・安心なまちづくりを進め、住民が快適に暮らせるまちづくりを推進した。	○	公園や調整池、排水路等の都市基盤を整備し、住環境の向上を図るとともに、土地区画整理事業の推進や町の魅力をPRすることで、定住人口の増加を図った。	－	住民が立ち上げたまちづくり活動グループにより、天宮地区ワークショップ事業等、各種まちづくり活動支援を進めたことにより、町並みの整備や地域資源の保全・活用方針について検討し、住民主体のまちづくりを進めることができた。	－	－
	【道路】町道本丁大上線	◎		○		－		－	
	【道路】町道天宮内房線	◎		○		－		－	
	【道路】町道天宮西8号線	◎		○		－		－	
	【道路】町道大洞院線	◎		○		－		－	
	【道路】町道新田赤松線(川久保地内)	◎		○		－		－	
	【道路】町道新田赤松線(川向地内)	◎		○		－		－	
	【公園】(仮称)天宮公園	◎		○		－		－	
提案事業	【地域生活基盤施設】天宮調整池	○		◎		－		－	
	【地方創造支援事業】排水路整備事業	◎		◎		－		－	
	【地方創造支援事業】上水道整備事業	◎		◎		－		－	
	【事業活用調査】事業効果分析調査	－		－		－		－	
	【まちづくり活動推進事業】天宮地区定住化促進事業	－		－		◎		－	
	【まちづくり活動推進事業】天宮地区ワークショップ事業	－		－		◎		－	
関連事業	【まちづくり活動推進事業】森地区まちづくり推進事業	－		－		◎		－	
	【土地区画整理事業】森町天宮地区	○		◎		－		－	

※指標改善への貢献度
◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
○：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
△：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
－：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	区画整理事業区外においても、道路や上下水道等の整備を継続し、住環境の向上につなげる。	区画整理事業や都市基盤整備による住環境の向上を図るとともに、森町の魅力をPRすることで町内定住の増加を図る。	地域資源を活用したイベントやまちづくり活動の支援を推進することで、町の魅力を創出するとともに、参加人数の増加を図る。	－
-------	--	--	--	---

添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		—			—			—			—		
指 標 名		—			—			—			—		
種別	事業名・箇所名	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類	目標 未達成への 影響度	総合所見	要因の 分類
基幹事業	【道路】町道沢下中川原線	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	【道路】町道本丁大上線	—			—			—			—		
	【道路】町道天宮内房線	—			—			—			—		
	【道路】町道天宮西8号線	—			—			—			—		
	【道路】町道大洞院線	—			—			—			—		
	【道路】町道新田赤松線(川久保地内)	—			—			—			—		
	【道路】町道新田赤松線(川向地内)	—			—			—			—		
	【公園】(仮称)天宮公園	—			—			—			—		
提案事業	【地域創造支援事業】天宮調整池	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	【地域創造支援事業】排水路整備事業	—			—			—			—		
	【地域創造支援事業】上水道整備事業	—			—			—			—		
	【事業活用調査】事業効果分析調査	—			—			—			—		
	【まちづくり活動推進事業】天宮地区定住化促進事業	—			—			—			—		
	【まちづくり活動推進事業】天宮地区ワークショップ事業	—			—			—			—		
	【まちづくり活動推進事業】森地区まちづくり推進事業	—			—			—			—		
関連事業	【土地区画整理事業】森町天宮地区	—			—			—			—		

※目標未達成への影響度
××：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の直接的な原因となった。
×：事業が効果を発揮せず、
指標の目標未達成の間接的な原因となった。
△：数値目標が達成できなかった中でも、
ある程度の効果をあげたと思われる。
—：事業と指標の間には、もともと関係がないことが
明確なので、評価できない。

※要因の分類
分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	—	—	—	—
------------------	---	---	---	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
森地区都市再生整備計画調整会議	町長、副町長、建設課参事(兼)課長、建設課課長補佐、建設課職員	平成29年1月12日	森町建設課 (都市再生整備計画主管課)

添付様式5－② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
町の中心地区である森地区で人口流失や商店街の衰退により、活力が失われており、活性化が求められている。	天宮土地区画整理事業により、新たな宅地を創出し地区内の人口が増加した。	衰退する商店街の活性化を図り、町の活力向上が求められる。	-
市街地の北部地域で行っている天宮土地区画整理事業について、土地需要の低迷等により保留地販売が不振で、事業が遅れており、土地区画整理事業の推進が急務となっている。	公園、調整池等の環境整備により地域の魅力を高めることで、保留地の販売が進み全て売却見込みとなった。	-	
天宮土地区画整理事業地区内の公園の整備や調整池における調整機能維持のための整備など周辺の住環境関連整備を行い、住宅地としての魅力を更に高める必要があり、また、保留地販売の振興策として、広くPRを進めることが望まれる。	(仮称)天宮公園、天宮調整池の整備による魅力の向上に加え、積極的なPR活動により保留地の販売が進んだ。	-	
地区の魅力を情報発信することで、Uターン・Iターンの促進を図るなど人口増加対策が望まれる。	地区のPR・情報発信によりUターン・Iターンを促し、定住人口の増加に繋がった。	地区内の定住人口は増加したものの、町外部からの人口流入は少なく町外からの人口流入が求められる。	
高齢者対策として、天宮土地区画整理事業地内に介護老人施設の建設を進めているが、周辺の道路の早期整備・環境づくりが望まれる	介護老人施設周辺の町道天宮内房線、町道天宮西8号線等の道路整備が進められた。	天宮土地区画整理事業区外に跨る(都)新田赤松線の整備推進により、安全・安心な道路ネットワークの構築が求められる。	
区域内の住環境・安全性を確保するため、狭小な道路の拡幅や危険な交差点の改良が必要であり、一方老朽化した水道管の取り換えや排水路の整備など安全で快適な住環境の整備が求められる。	天宮内房線や天宮西8号線等の道路整備に加え、排水路整備事業(森町第一排水路)、上水道整備事業(向天方地区)が実施され、住環境の整備が図られた。	土地区画整理事業区外については、道路・排水路の整備充実を図るとともに、老朽化した上水道の交換を進め、住環境の向上が求められる。	
地区内には、古い町並みや土蔵などの建物が残されており、町並みの保全を行うとともに活性化のための利活用が課題となっている。	古い町並みや土蔵の資源を活用した「町並みと蔵展」等のイベントを開催した。	土蔵や古い町並みが喪失しており、保全に向けた取組や組織作りが求められる。	
新東名高速道路のインターチェンジの開設が予想され、この開通により交流人口の増加が見込まれ、これを契機にまちづくりの気運が高まっており、まちづくり活動の推進が必要となっている。	森掛川ICの開設に伴い、町並みと蔵展、みんなで森ほたるに加え、新規に森のKトラ市等のイベント増加・周知を図り参加人数が増加した。	-	
町の玄関口である森川橋の整備が進められ、周辺道路の整備により、円滑な交通を確保するとともに、中心市街地の整備が求められている。	円滑な交通確保を図るため、新田赤松線や本丁大上線等の道路整備を実施した。	土地区画整理事業区域外の新田赤松線の整備の推進が求められる。	
今後の都市計画道路の整備や住民との協働による公園管理、景観を活かした町並み整備などを住民参加のまちづくりを進めて行きたい。	森地区まちづくりの会において、街路・町並みの整備について、様々な視点から検討する住民参加のワークショップが開催された。	森地区まちづくりの会による提案の実現に向けた組織づくりと事業着手に加え、古い町並みを活用した景観形成が求められる。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5－③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	天宮土地区画整理事業地区等の魅力を維持	整備された公園や調整池、道路等の管理を適切に行い、地域の魅力を維持する。	都市施設の維持管理事業
	まちづくり活動・イベントの周知を強化	町ホームページやSNS、パンフレット配布等による町外に向けた情報発信を強化する。	まちづくり活動・イベントのPR活動支援

B欄 改 善 策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	町並み活用事業の実施	・土蔵や町屋等を活用することで古い町並みを創出し、良好な景観形成を図るとともに、観光客を商店街に誘導し、活性化を図る。	土蔵や町屋の保全・活用の検討
	地区のPR活動の推進	・町ホームページやSNSの活用・パンフレットの配布等により町内外に向けた情報発信を図る。	地区のPR活動・情報発信の推進
	天宮土地区画整理事業区域外の住環境向上	・森地区全域において排水路の整備を進めるとともに、天宮土地区画整理事業区外の道路・上水道を整備し、住環境の向上を図る。	・都市計画道路の整備延伸の検討 ・上下水道の整備推進
	住民参加によるまちづくりの推進	・住民参加により作成された「森地区まちづくりの会の報告書」を活用したまちづくりを推進するとともに、住民との協働によるまちづくりを図る。	歴史資源を活用したイベント等への支援

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5－③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4－②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4－③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5－②)を再確認した。

添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

「遠州の小京都」を意識したまちづくりが必要です。

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標			従前値		目標値		評価値			目標 達成度	1年以内の 達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			単位	年度	年度	年度					年度	予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	住みやすさ	%	19.7	H21	22.1	H27	確定	●	29.0	○	あり	—	→	—	—	—
							見込み				なし	—				
指標2	定住人口	人	254	H22	270	H27	確定	●	336	○	あり	—	→	—	—	—
							見込み				なし	—				
指標3	まちづくり活動参加者の数	人	200	H22	300	H27	確定	●	568	○	あり	—	→	—	—	—
							見込み				なし	—				

その他の 数値指標1	-	-	-	-		確定	-	-			→	-	-	-
						見込み	-							
その他の 数値指標2	-	-	-	-		確定	-	-			→	-	-	-
						見込み	-							
その他の 数値指標3	-	-	-	-		確定	-	-			→	-	-	-
						見込み	-							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	各指標の評価値全般で目標値を大幅に上回った。特に指標1「住みやすさ」の住民アンケートによる評価値の良い方向への大きな変化は予想を超えるものだった。	評価のための適切な住民アンケート実施は、客観的な事業の評価に役立つため、今後も住民の声を収集する手段としても継続的に実施する必要がある。
	うまく いかなかった点	—	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	指標2「定住人口」は、事業との整合性が高く、目標を評価するために適切だった。	指標の目標値の設定の根拠を目標との関連から明確にする必要がある。
	うまく いかなかった点	—	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	「まちづくり活動推進事業」で実施した「森地区まちづくりの会」の活動は、今後の森地区におけるまちづくりの方向性を探る上で、大きな役割を果たした。	次期計画の事業を進める際には、活発な住民参加を促すために、十分な情報公開に努める。
	うまく いかなかった点	計画期間中における住民に対する情報公開が不十分であった。	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	継続的に計測が可能な指標を採用したため、今後も継続的に評価が可能である。	次期計画の目標及び指標を適切に設定し、長期的な視点に立ったまちづくりを今後も進めていく必要がある。
	うまく いかなかった点	指標3「まちづくり活動参加者数」の従前値の定義が曖昧で、再定義が必要だった。	
その他	うまくいった点	懸案であった森町天宮土地区画整理事業が、交付金事業を活用することで大幅な進捗を図ることができた。	都市再生整備計画事業の活用は、地域の特性に即した事業の実施が可能であるため、今後も継続的に道事業を実施することにより、まちづくりへの効果を期待することができる。
	うまく いかなかった点	—	

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後、都市再生整備計画の活用予定地区：
森地区(第2期)
・事後評価を予定している地区：
なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	町のホームページに掲載	平成29年1月17日～1月30日	平成29年1月17日～1月30日	担当部署へ Eメール、FAX、持 参、郵送等により、文 書で意見提出	森町建設課 都市整備係
広報掲載	町内回覧による公表の案内	平成29年1月15日	平成29年1月17日～1月30日		
その他	建設課にて閲覧	平成29年1月17日～1月30日	平成29年1月17日～1月30日		

住民の意見	意見募集期間中に寄せられた意見は1件で、その内容は次のとおりである。 ○都市計画事業区域と下水道事業区域は密集住宅地でありまた、独居住宅、空き家が点在しています。 ○新潟県糸魚川市で発生した火災事故の二の舞にならないよう、十分な検討をお願いいたします。 また、指標1の計測に当たり実施した「森地区のまちづくりに関するアンケート」において寄せられた意見の概要は以下のとおりである。 ○少子高齢化が進んでいるため、子ども手当を充実する等対策の必要がある。 ○空家・空地を利用し、人口減少対策に役立てる必要がある。 ○商店が少なくなり、買い物が不便である。 ○幼稚園・保育園を整備し、子育て環境を充実する必要がある。 ○狭い道路が多いため、道路の拡幅等整備の必要がある。 ○交通の便が悪く、車がないと生活に困る。
-------	---

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	谷部真吾 山口大学 人文学部人文社会学科 准教授	平成29年3月6日	森町建設課 (都市再生整備計画主管課)	森町都市再生整備計画事業評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	花嶋久治 森町都市計画審議会委員 伊藤和子 森町都市計画審議会委員 安間慎一 森町天宮土地区画整理組合理事長				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	方法書にしたがって、適切に事後評価が実施されたことが確認された。
	成果の評価	■指標2「定住人口」について ・指標2は、土地区画整理事業施行区域内の人口を対象としているが、森地区を対象とした指標でなくても良いのか。 →天宮土地区画整理事業は本計画の関連事業であり、区画整理区域内の天宮公園の整備については基幹事業となっている。事業との関連性が高く、効果を測る指標として適切と判断し設定されている。 ■事業の実施状況と変更内容について ・「(仮称)天宮児童公園」の整備事業を削除しているが、公園の面積は足りているのか。 →土地区画整理面積の3%以上を公園とするが、「天宮公園」のみで3%をクリアしている。 →「(仮称)天宮児童公園」に設置予定であった児童向けの遊具については、「天宮公園」に設置し、廃止した公園の機能維持についても考慮している。 ■指標3「まちづくり活動参加者の数」について ・イベント回数と参加者の割合をみると、一回当たりの参加者が減少しているとも捉えられる。 →計画期間中に「Kトラ市」が始まったため、当初数値に比べ、イベント回数が増加している。他の2つのイベント(「町並みと蔵展」「みんなで森ほたる」)に比べ、小規模であるため、参加者数は少ないことが影響している。 ■定量的に表現できない定性的な効果発現状況について ・地区内で盛んになった「町並みと蔵展」、「みんなで森ほたる」等のイベントを参考にして、町内の地区外の地域においても「遠州森駅発 Neo 森の古着市」、「森町天方・三倉地区 かわせみ街道オープンハウス ふぶふの日」等の住民グループ主催のイベントが定期的開催されるようになり、町全体で住民参加によるまちづくりへの機運が高まっている。 ・土地区画整理により区画整理地内の定住人口が増加しているとともに、町内他地区に比較して若い世帯・子どもの増加が確認でき、新たな定住者の中には、未来への継承が課題となる国指定無形民俗文化財「天宮神社十二段舞楽」が行われる地域の祭りへの積極的な参加がみられ、地域の大切な文化の継承に大きく貢献している。
	実施過程の評価	■「住民参加プロセスの実施状況」「持続的なまちづくり体制の構築状況」について ・住民の活動が活発化しているため、今後も対応方針のとおり継続的な支援を期待する。
	効果発現要因の整理	特になし
	事後評価原案の公表の妥当性	原案公表は妥当であると確認された。
	その他	特になし
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	事後評価手続きは妥当であると確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	■「情報発信」について ・町HPに森町の各所を紹介するショートムービーを載せる等、森町のことを知ってもらう必要がある。 ・小國神社を訪れる年間100万人の観光客を市街地に誘導するための取組が必要である。 ・現在放映中の大河ドラマに縁のある歴史的資源を有しており、NHKも取材にきている。これを活用したPRを進める必要がある。 ・観光客を受け入れる体制・施設を整備する必要がある。 ・「遠州の小京都」のPRをすべき。 ■「定住促進」について ・歴史的なまち並みも重要だが、人がいなくなってしまう意味がないため、定住促進に向けた住みやすい環境を整備していく必要がある。 ・まちの発展のためには、交通網の整備が必要である。(都)新田赤松線の早期整備が望まれる。 ・町外から転入してきた方に、なぜ森町を選んだかを調査し今後の定住施策に生かすべきである。
	フォローアップ	特になし
	その他	■「遠州の小京都」について ・なぜ森町が「遠州の小京都」と言われるのかを広めていく必要がある。 ・まちの見た目ではなく、伝統・文化で「遠州の小京都」とするべきではないか。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	今後のまちづくり方策は妥当であると確認された。
その他		特になし

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

都市再生整備計画(第1回変更)

もり ち く
森地区

しずおか もりまち
静岡県 森町

平成26年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	もりまち森町	地区名	もりちく森地区	面積	250 ha
計画期間	平成23年度～平成27年度	交付期間	平成23年度～平成27年度				

目標
豊かな自然と歴史を活かした、快適に安心して住み続けられるまちづくり (1)快適で、安心して住めるまちづくりをめざす。 (2)地域の魅力を高め、定住人口の増加をめざす。 (3)みんなで参加する元気なまちづくりをめざす。
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 森地区は森町の中心地区で、市街地は城下、天宮、向天方、(旧)森地区の4地区からなり、同一の幼・小・中学校区内で、自治会連合会や消防団活動など一帯の地域としてまちづくりを進めている。 かつては火伏せ「秋葉山」への秋葉街道の宿場町として、また、太田川の水運を活かし物資が集まる「古着の町」として栄えてきた。今でも城下地区や森地区などで江戸時代から続く古い町並み、商家や土蔵などが残されている。春には、国指定無形民俗文化財「天宮神社十二段舞楽」の奉納がされ、秋には地域ぐるみで伝統の「森のまつり」が行われており、「遠州の小京都」と呼ばれ歴史と文化が息づいている。 「森の横町(森地区の中心街)なぜ日が照らぬ 秋葉道者の笠の影」と謳われるほど繁栄をしたこの街道も、時代の流れとともに中心街の空洞化が進み、徐々に人口が流失し商店街が衰退しており、中心市街地の活性化が課題となっていた。 町では昭和の頃から都市計画を進め、南部地域を中心に都市計画道路の整備や区画整理事業を行い、面的な整備を図ってきており、役場から南側には工場や住宅市街地が集積し、現在も下水道事業も進められ、住宅基盤が整ってきている。 一方、北部地域や中心市街地では整備が進んでおらず、このため、平成9年度から天宮地区において、都市計画道路の建設及び区画整理事業が進められた。これは、北部地域に住宅地を設けることで、人口流失を食い止め、地域全体に活性化を求めてきたものである。しかし、長引く不況と土地需要の低迷により保留地の販売が不振で、区画整理事業の進捗が大幅に遅れており、このため、附近の環境整備を図るとともに保留地販売の促進を図るなど至急対策が求められている。 また、地区内の市街地には狭小な道路が依然多く、老朽化した上水道施設や排水路もあり、整備が望まれている。幹線的な道路にあっては早急に道路を拡幅し、相互交通を促進し、円滑な交通網の確保を図っていくとともに、上水道や排水路など生活基盤に係る施設の整備が求められている。 新東名が近年中に開通し、森町と掛川市境にインターチェンジが開設予定であり、また、このほど町の玄関口である太田川に架かる「森川橋」が掛け替えられ、まちづくりの機運も高まっており、まちづくり推進事業を立ち上げ、歴史的な資源の活用方法を検討し、今後の町づくりのあり方を地域ぐるみで考え、このまちづくり交付金事業を通じて、今まで整備が進んでいなかった中心市街地の整備について、今後につなげていきたい。
・町の中心地区である森地区で人口流失や商店街の衰退により、活力が失われており、活性化が求められている。 ・市街地の北部地域で行っている天宮土地区画整理事業について、土地需要の低迷等により保留地販売が不振で、事業が遅れており、土地区画整理事業の推進が急務となっている。 ・天宮土地区画整理事業地区内の公園の整備や調整池における調整機能維持のための整備など周辺の住環境関連整備を行い、住宅地としての魅力を更に高める必要があり、また、保留地販売の振興策として、広くPRを進めることが望まれる。 ・地区の魅力を情報発信することで、Uターン・Iターンの促進を図るなど人口増加対策が望まれる。 ・高齢者対策として、天宮土地区画整理事業地内に介護老人施設の建設を進めているが、周辺の道路の早期整備・環境づくりが望まれる。 ・区域内の住環境・安全性を確保するため、狭小な道路の拡幅や危険な交差点の改良が必要であり、一方老朽化した水道管の取り替えや排水路の整備など安全で快適な住環境の整備が求められている。 ・地区内には古い町並みや土蔵などの建物が残されており、町並みの保存を行うとともに活性化のための利活用が課題となっている。 ・新東名高速道路のインターチェンジの開設が予定され、この開通により交流人口の増加が見込まれ、これを契機にまちづくりの気運が高まっており、まちづくり活動の推進が必要となっている。 ・町の玄関口である森川橋の整備が進められ、周辺道路の整備により、円滑な交通を確保するとともに、中心市街地の整備が求められている。 ・今後の都市計画道路の整備や住民との協働による公園管理、景観を活かした町並み整備など住民参加のまちづくりを進めていきたい。
将来ビジョン(中長期) 第8次総合計画では「ええら森町」～みんながチカラの郷づくり 古きをいかして新しきを創る～を町の将来像に定め、住みたい、住み続けたいまちづくりを進めています。これに基づいて、現在新たに第2次国土利用計画や都市計画マスタープランを作成しており、向こう中長期にわたり、安心と快適を重視したまちづくり、自然や歴史・文化と調和した町づくりを図っていきたい。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	
						目標値	目標年度
住みやすさ	%	住民アンケートによる「住みやすい」と回答した人の割合	道路や公園等の環境整備により、「住みやすい」と回答した人数を他地区(三倉地区を除く5地区の平均)並みに向上させる。	19.7	H21	22.1	H27
定住人口	人	天宮区画整理事業地内の人口(増加数)	公園、調整池、排水路などの環境整備により地域の魅力を高めるとともに、PR活動等を促進し土地区画整理事業地内の人口の増加を図る。	254	H22	270	H27
まちづくり活動参加者の数	人	まちづくり活動(研修会・イベント等)への参加住民の数	各種まちづくり活動への住民の参加者数の増加を図ることで、元気なまちづくりにつなげてゆく。	200	H22	300	H27

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【快適で、安心して住めるまちづくりをめざす】 ・地区内の道路の整備を図るとともに、都市公園のない天宮地区に公園を設置し、環境整備を図ることで快適で、安心して住めるまちづくりを推進する。 ・向天方地区・天宮地区等の狭小な道路を整備を図るとともに、地区内で交通事故の多発する交差点を改修し、カラー舗装するなどの対策を施し、円滑な交通確保を図る。 ・地区内の老朽化した上水道施設や排水路など生活基盤に密接した施設改修することにより、災害に強く安心して住める施設整備を図る。		・道路(基幹事業):町道沢下中川原線、町道本丁大上線、町道大洞院線、町道新田赤松線(川久保地区)、町道新田赤松線(川向地区) ・公園(基幹事業):(仮称)天宮公園 ・地域創造支援事業(提案事業):上水道整備(向天方地区) ・森町天宮土地区画整理事業(関連事業)
【地域の魅力を高め、定住人口の増加をめざす】 ・区画整理地内の狭小な道路の整備を行うとともに、公園、調整池、排水路などの環境整備を行い、地域の魅力を高める。 ・区画整理分譲地の効果的な販売・PR活動を行うとともに、地区の魅力を情報発信し、UターンIターンなどの促進を図り、定住人口の増加を推進する。		・道路(基幹事業):町道本丁大上線、町道天宮西8号線、町道天宮内房線 ・公園(基幹事業):(仮称)天宮公園 ・地域生活基盤施設(基幹事業):天宮調整池 ・地域創造支援事業(提案事業):森町第一排水路 ・まちづくり活動推進事業(提案事業):天宮地区定住化促進事業 ・森町天宮土地区画整理事業(関連事業)
【みんなで参加する元気なまちづくりをめざす】 ・天宮公園の整備に当たってはワークショップを行い、住民が利活用できる公園整備を図るとともに、住民参加による管理を検討する。 ・森地区全体でまちづくりの研修会やイベントを行い、まちづくりの意識向上を図るとともに、住民参加による町並み整備の検討や住民のまちづくり活動の支援を図っていく。 ・街路整備について住民参加のワークショップを行い、今後の整備につなげていく。		・まちづくり活動推進事業(提案事業):森地区まちづくり推進事業、天宮地区ワークショップ事業
その他 今回の計画では主に天宮地区・向天方地区を中心に道路・公園整備などの事業を行うとともに、森地区・天宮地区まちづくり推進事業などを取り入れ、まちなかの活性化を図り、将来的には町中の環状道路である都市計画道路駅前大門本町線や新田赤松線について、住民参加の整備を進めたい。		

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費		318.0	交付限度額		127.2	国費率		0.4		(金額の単位は百万円)				
基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		町道沢下中川原線	森町	直	280m	H23	H23	H23	H23	40.0	40.0	40.0		40.0
道路		町道本丁大上線	森町	直	52m	H23	H23	H23	H23	19.6	19.6	19.6		19.6
道路		町道天宮内房線	森町	直	65m	H23	H24	H23	H24	24.7	24.7	24.7		24.7
道路		町道天宮西8号線	森町	直	80m	H25	H26	H25	H26	37.0	37.0	37.0		37.0
道路		町道大洞院線	森町	直	317m	H27	H27	H27	H27	6.0	6.0	6.0		6.0
道路		町道新田赤松線(川久保地内)	森町	直	63m	H27	H27	H27	H27	6.0	6.0	6.0		6.0
道路		町道新田赤松線(川向地内)	森町	直	100m	H24	H24	H24	H24	5.0	5.0	5.0		5.0
公園		(仮称)天宮公園	森町	直	3,600㎡	H23	H26	H23	H26	77.0	77.0	77.0		77.0
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		－			－									
駐車場有効利用システム		－			－									
地域生活基盤施設		天宮調整池	森町	直	2,150㎡	H23	H24	H23	H24	15.0	15.0	15.0		15.0
高質空間形成施設		－			－									
高次都市施設		－			－									
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										230.3	230.3	230.3	0.0	230.3
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造	排水路整備事業	森町第一排水路	森町	直	95m	H26	H27	H26	H27	13.0	13.0	13.0		13.0
支援事業	上水道整備事業	向天方地区	森町	直	365m	H23	H25	H23	H25	51.0	51.0	51.0		51.0
事業活用調査	事業効果分析調査	－	森町	直	－	H27	H27	H27	H27	4.5	4.5	4.5		4.5
		－			－									
まちづくり活動推進事業	天宮地区定住化促進事業	－	森町	直	－	H24	H26	H24	H26	6.0	6.0	6.0		6.0
	天宮地区ワークショップ事業	－	森町	直	－	H23	H23	H23	H23	2.2	2.2	2.2		2.2
	森地区まちづくり推進事業	－	森町	直	－	H23	H27	H23	H27	11.0	11.0	11.0		11.0
合計										87.7	87.7	87.7	0.0	87.7
													合計(A+B)	318.0

事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
土地区画整理事業	森町天宮地区	組合	国土交通省	11.9ha		○			H9	H26	2,407
合計											2,407

森 地区(静岡県森町) 整備方針概要図

目標	豊かな自然と歴史を活かした、快適に安心して住み続けられるまちづくり (1)快適で、安心して住めるまちづくりをめざす。 (2)地域の魅力を高め、定住人口の増加をめざす。 (3)みんなで参加する元気なまちづくりをめざす。	代表的 な指標	住みやすさ	(%)	19.7	(H21年度)	→	22.1	(H27年度)
			定住人口	(人)	254	(H22年度)	→	270	(H27年度)
			まちづくり活動参加者の数	(人)	200	(H22年度)	→	300	(H27年度)

